

1:6 「子は父を敬い、しもべはその主人を敬う。もし、わたしが父であるなら、どこに、わたしへの尊敬があるのか。もし、わたしが主人であるなら、どこに、わたしへの恐れがあるのか。・・・万軍の主は、あなたがたに仰せられる。・・・わたしの名をさげすむ祭司たち。あなたがたは言う。『どのようにして、私たちがあなたの名をさげすみましたか。』と。

1:7 あなたがたは、わたしの祭壇の上に汚れたパンをささげて、『どのようにして、私たちがあなたを汚しましたか。』と言う。『主の食卓はさげすまれてもよい。』とあなたがたは思っている。

1:8 あなたがたは、盲の獣をいけにえにささげるが、それは悪いことではないのか。足なえや病気のものをささげるのは、悪いことではないのか。さあ、あなたの総督のところにそれを差し出してみよ。彼はあなたをよみし、あなたを受け入れるだろうか。・・・万軍の主は仰せられる。・・・

1:9 さあ、今、恵みを受けるために神に願ってみよ。これはあなたがたの手によることだ。神はあなたがたのうちだれかを、受け入れてくださるだろうか。・・・万軍の主は仰せられる。・・・

1:10 あなたがたのうちにさえ、あなたがたがわたしの祭壇に、いたずらに火を点ずることがないように、戸を閉じる人は、だれかいけないのか。わたしは、あなたがたを喜ばない。・・・万軍の主は仰せられる。・・・わたしは、あなたがたの手からのささげ物を受け入れない。

1:11 日の出る所から、その沈む所まで、わたしの名は諸国の民の間であがめられ、すべての場所で、わたしの名のために、きよいささげ物がささげられ、香がたかれる。わたしの名が諸国の民の間であがめられているからだ。・・・万軍の主は仰せられる。・・・

1:12 しかし、あなたがたは、『主の食卓は汚れている。その果実も食物もさげすまれている。』と言って、祭壇を冒瀆している。

1:13 あなたがたはまた、『見よ。なんとうるさいことか。』と言って、それを軽蔑する。・・・万軍の主は仰せられる。・・・あなたがたは、かすめたもの、足なえのもの、病気のものを連れて来て、ささげ物としてささげている。わたしが、それをあなたがたの手から、喜んで、受け入れるだろうか。・・・主は仰せられる。・・・

1:14 群れのうちに雄の獣がいて、これをささげると誓いながら、損傷のあるのを主にささげるずるいは、のろわれる。わたしが大いなる王であり、わたしの名が諸国の民の間で、恐れられているからだ。・・・万軍の主は仰せられる。・・・

神様がイスラエルに求めたささげものは、イエス様がご自身を十字架でささげたことをイメージするのもでもありますから、それは完全なものでなくてはなりません。それが動物であっても同じで、「病気のもの」ではいけなかったのです。

また何よりも、「総督のところに」差し出すことはばかられるような、欠陥のあるものを神に差し出すというのは、神様を侮っている証拠であると、マラキ書では言っています。

神様の恵みに慣れてしまい、何でも赦されると思っていないでしょうか。人には気をつかいな

がら、主への尊厳を表すのに手を抜いているということはないでしょうか。常に考えてみる必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

